

# 全国中小企業動向調査結果

(2023年1-3月期実績、4-6月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

(前回)厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲26.3となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲3.6となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲24.3となった。  
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲26.3 (+1.7)	▲3.6 (+8.0)	▲24.3 (-2.4)	▲25.7 (-1.8)	▲17.6 (+0.6)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる

(前回)一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から上昇し、8.2となった。  
来期は低下、来々期は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から上昇し、20.0となった。  
来期以降は低下する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲9.6となった。  
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
8.2 (+3.7)	20.0 (+2.0)	▲9.6 (+3.6)	▲1.4 (+0.3)	4.5 (-0.4)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:青野、葛貫)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:山口(修)、立澤)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

※資料編につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

## 目次

調査結果の概要	1
---------	---

### 【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

### 【中小企業編】

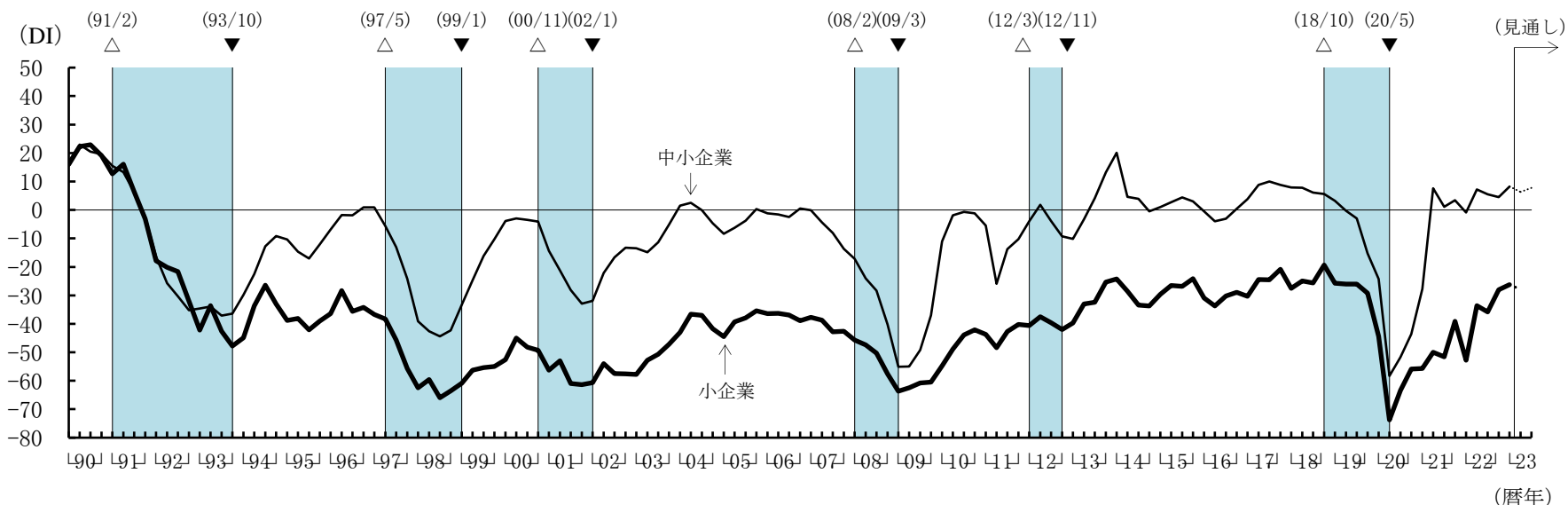
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

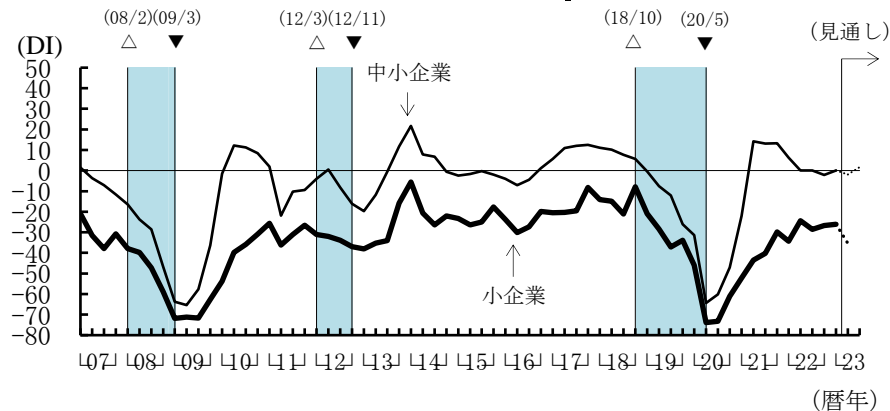
### ①全業種計

	21.1-3	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9
中小企業	▲27.8	7.6	1.1	3.4	▲0.9	7.2	5.5	4.5	8.2	見通し	見通し
小企業	▲55.6	▲50.0	▲51.6	▲39.1	▲52.8	▲33.6	▲35.8	▲28.0	▲26.3	▲27.9	-



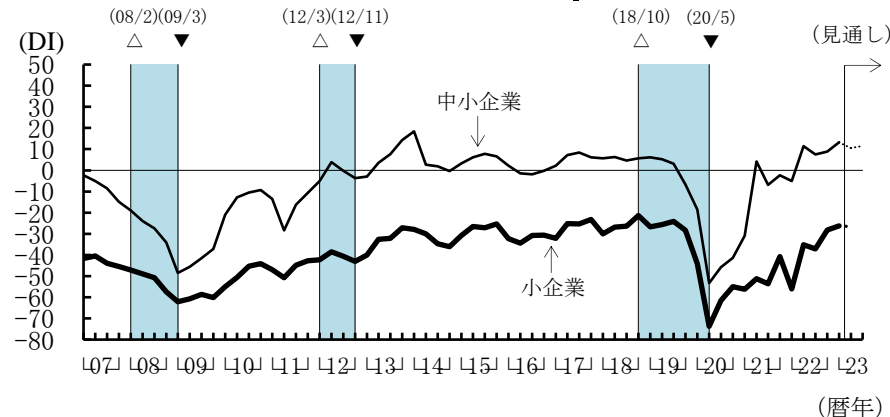
### ②製造業

	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9
中小企業	0.1	▲2.2	0.1	▲1.9	見通し
小企業	▲28.6	▲26.8	▲26.1	▲35.4	-



### ③非製造業

	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9
中小企業	7.5	8.9	13.2	10.6	見通し
小企業	▲37.1	▲28.3	▲26.3	▲26.5	-

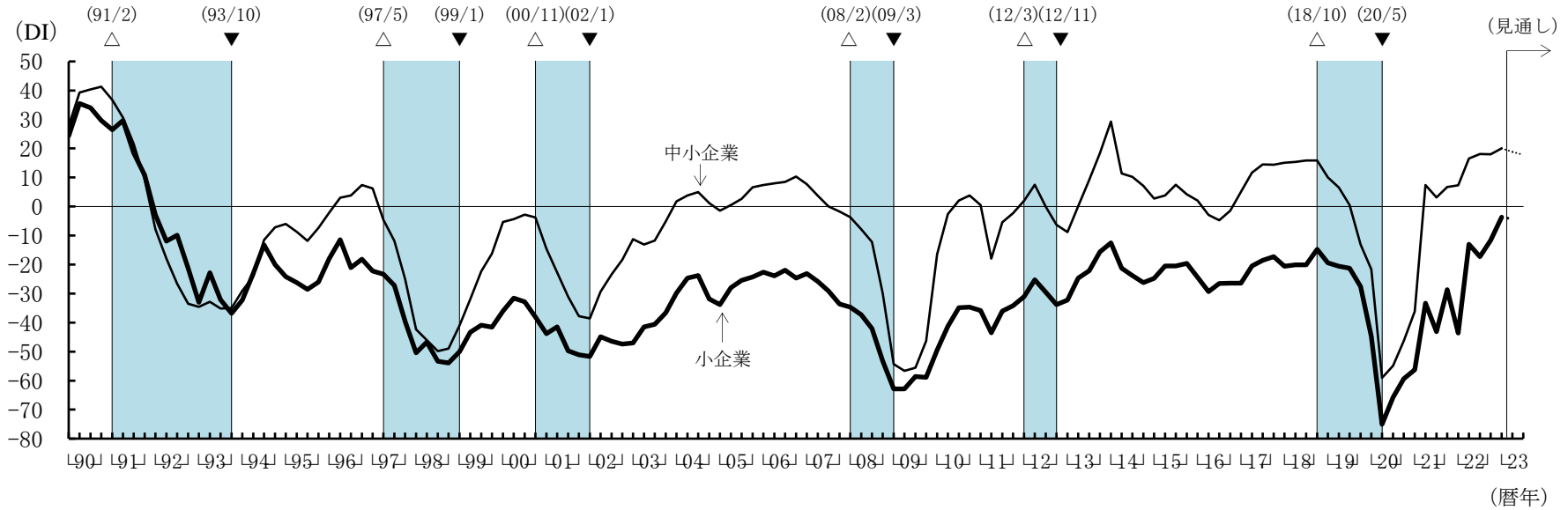


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

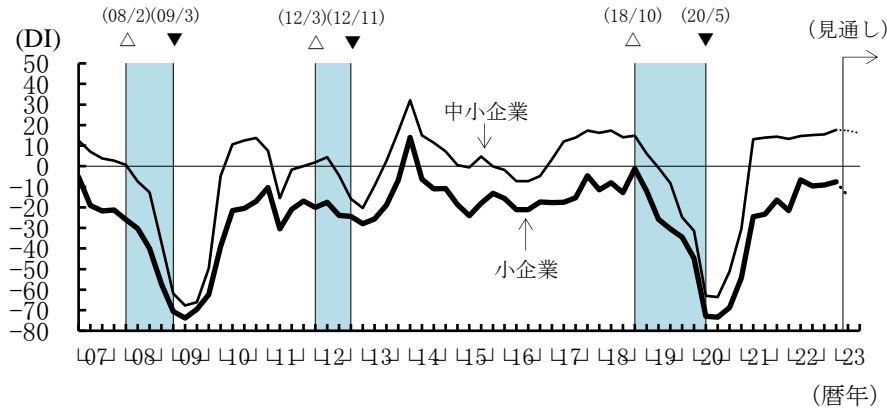
### ①全業種計

	21.1-3	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9
中小企業	▲36.1	7.4	3.1	6.7	7.3	16.5	18.1	18.0	20.0	見通し	見通し
小企業	▲56.2	▲33.3	▲43.1	▲28.6	▲43.6	▲13.0	▲17.3	▲11.6	▲3.6	▲4.3	-



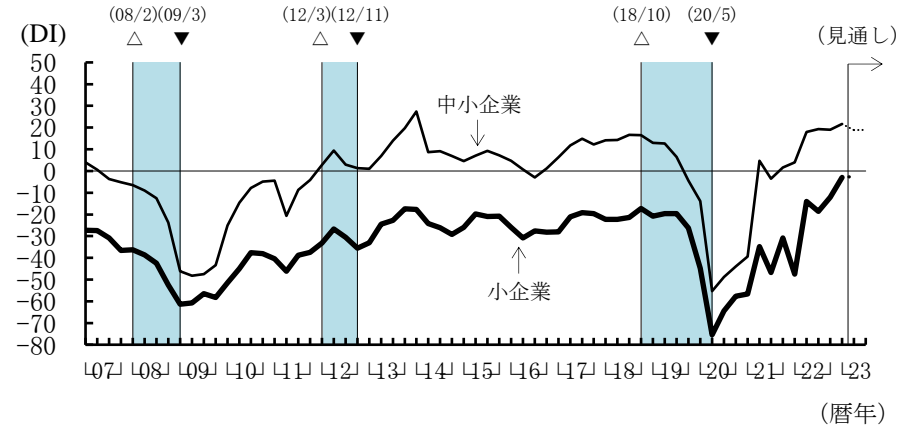
### ②製造業

	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9
中小企業	15.1	15.4	17.7	見通し	見通し
小企業	▲9.5	▲9.1	▲7.6	▲14.4	-



### ③非製造業

	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9
中小企業	19.3	19.0	21.7	見通し	見通し
小企業	▲18.5	▲12.0	▲2.9	▲2.5	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

# 小 企 業 編

(2023年1-3月期実績、4-6月期見通し)

小企業の景況は、厳しい状況にあるものの、  
持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2023年3月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先 10,000 企業
有 効 回 答 数	5,998 企業 [回答率 60.0 %]

### < 業 種 構 成 >

		調 査 対 象	有 効 回 答 数	
製 造 業	(従業員20人未満)	1,500 企業	905 企業	(構成比 15.1 %)
卸 売 業	( 同 10人未満)	800 企業	607 企業	( 同 10.1 %)
小 売 業	( 同 10人未満)	2,450 企業	1,370 企業	( 同 22.8 %)
飲食店・宿泊業	( 同 10人未満)	1,800 企業	888 企業	( 同 14.8 %)
サ ー ビ ス 業	( 同 20人未満)	2,000 企業	1,270 企業	( 同 21.2 %)
情 報 通 信 業	( 同 20人未満)	160 企業	70 企業	( 同 1.2 %)
建 設 業	( 同 20人未満)	1,100 企業	736 企業	( 同 12.3 %)
運 輸 業	( 同 20人未満)	190 企業	152 企業	( 同 2.5 %)

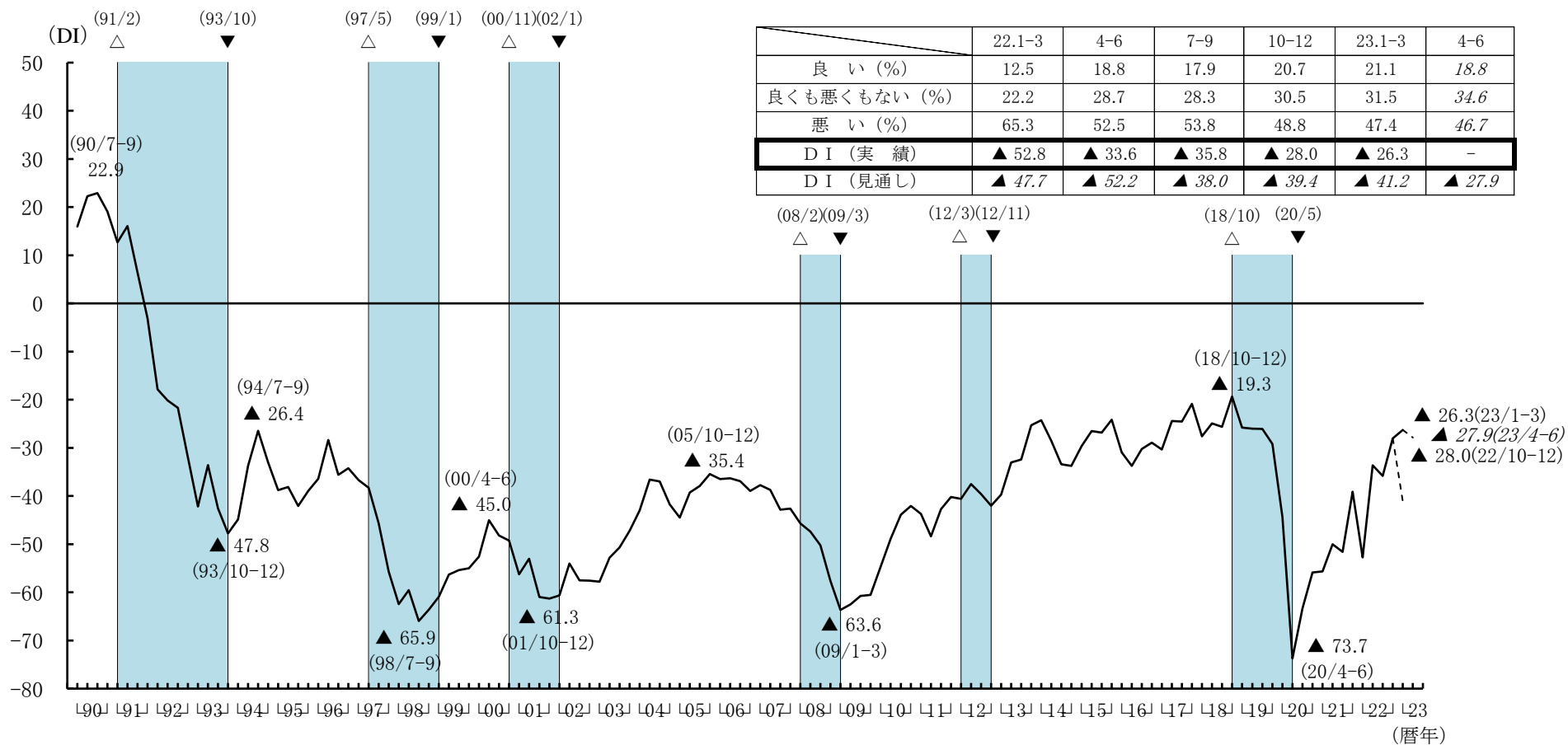
(参 考)

法 人	3,996 企業	(構成比 66.6 %)
個 人	2,002 企業	( 同 33.4 %)

# 1 業況判断

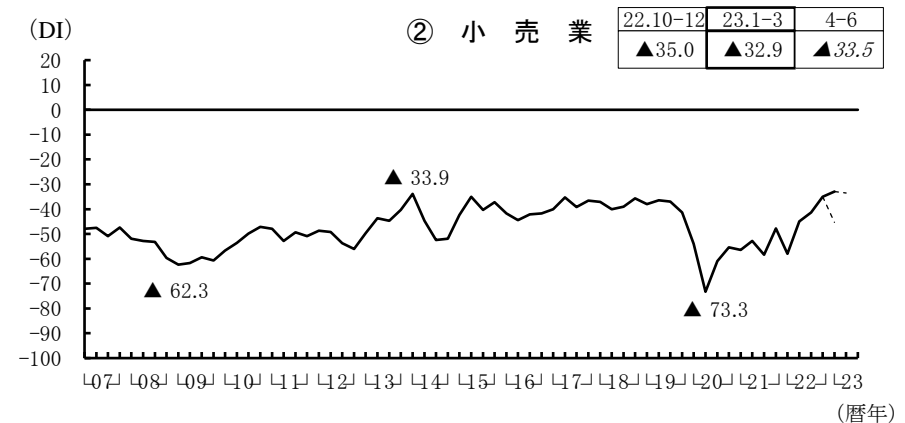
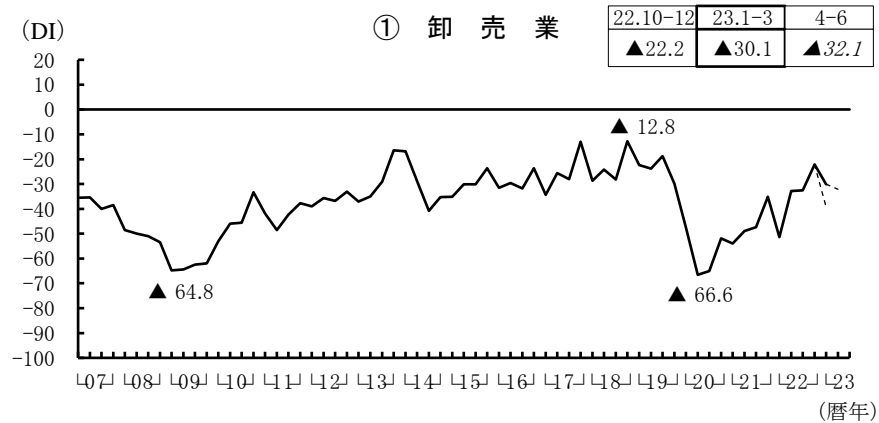
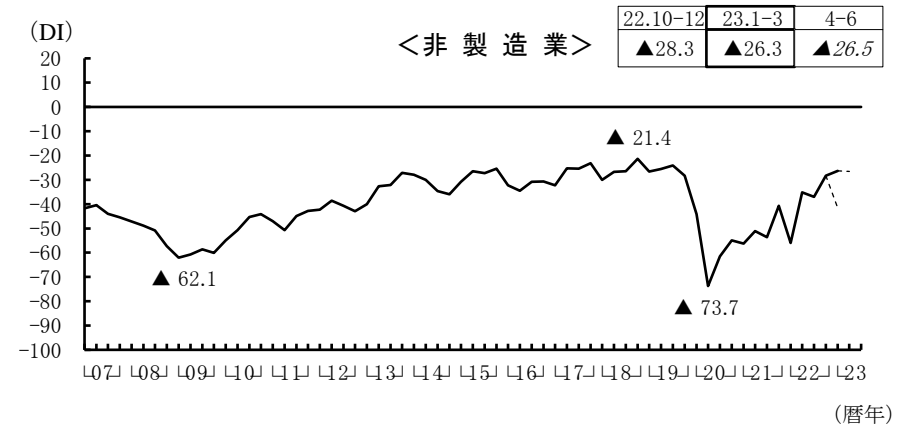
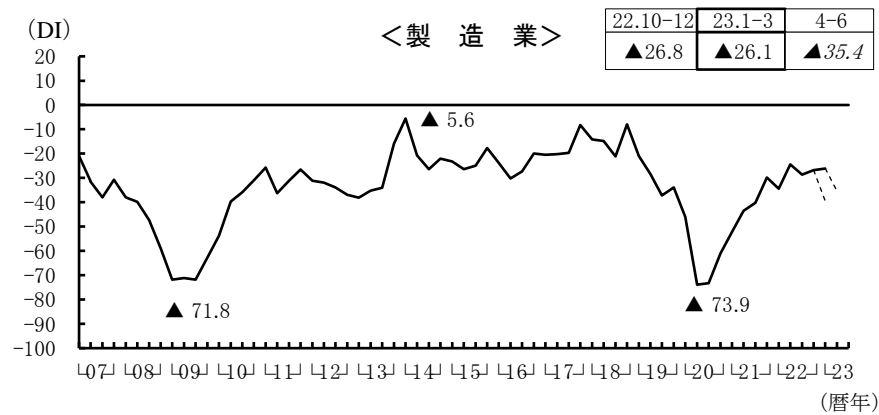
- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2022年10-12月期）からマイナス幅が1.7ポイント縮小し、▲26.3となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲27.9となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）

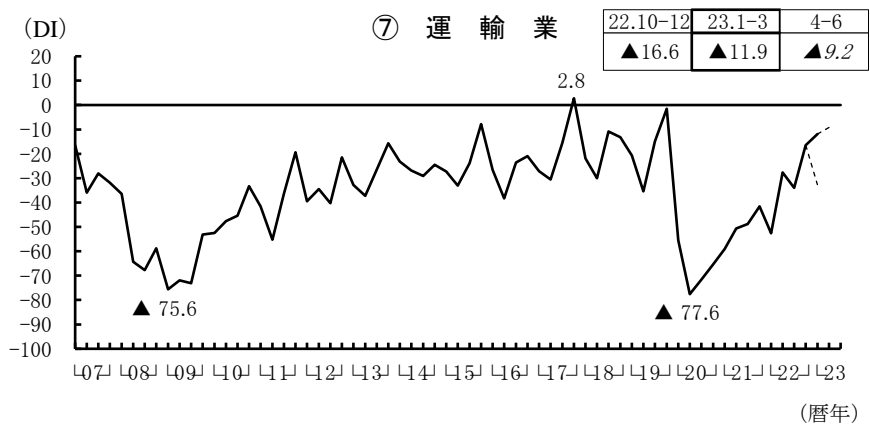
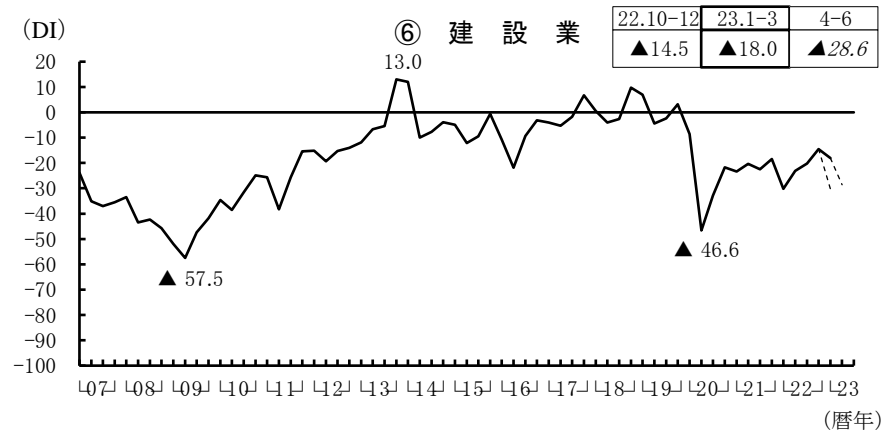
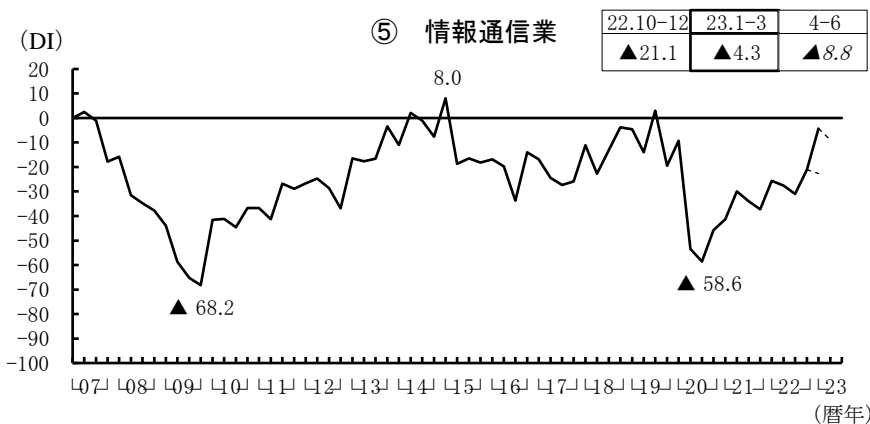
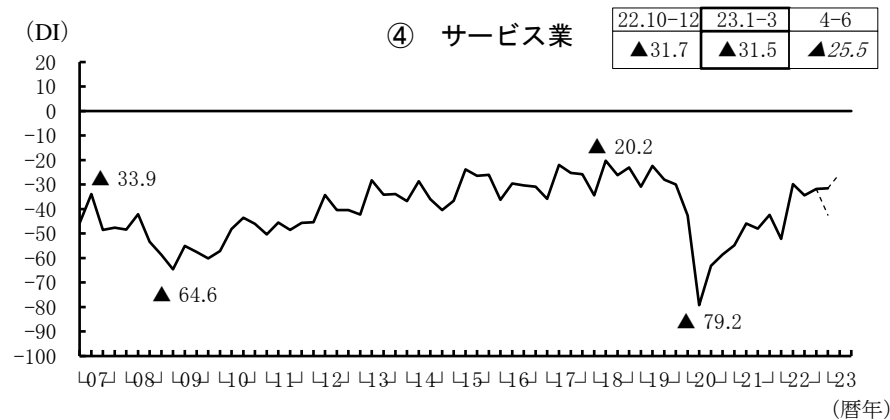
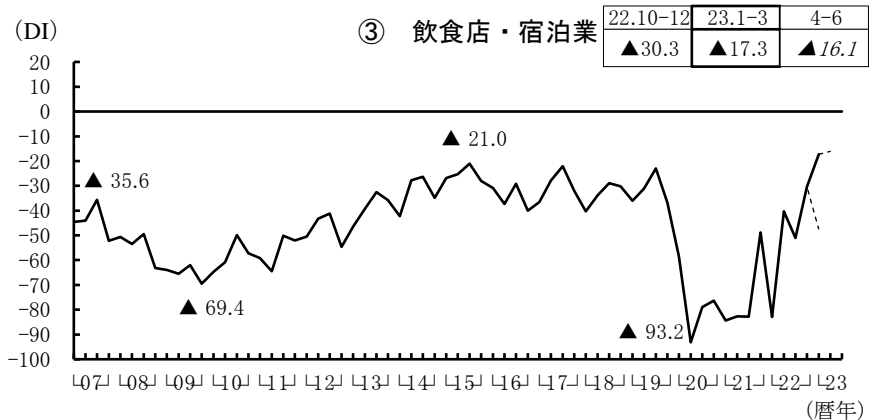


- 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲26.1）、非製造業（▲26.3）ともにマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、卸売業と建設業を除くすべての業種でマイナス幅が縮小した。
- 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

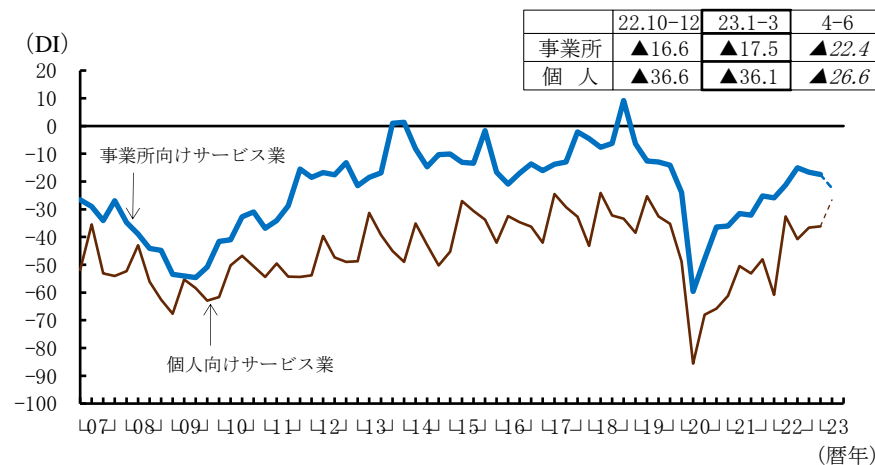
図－２ 業種別業況判断DIの推移





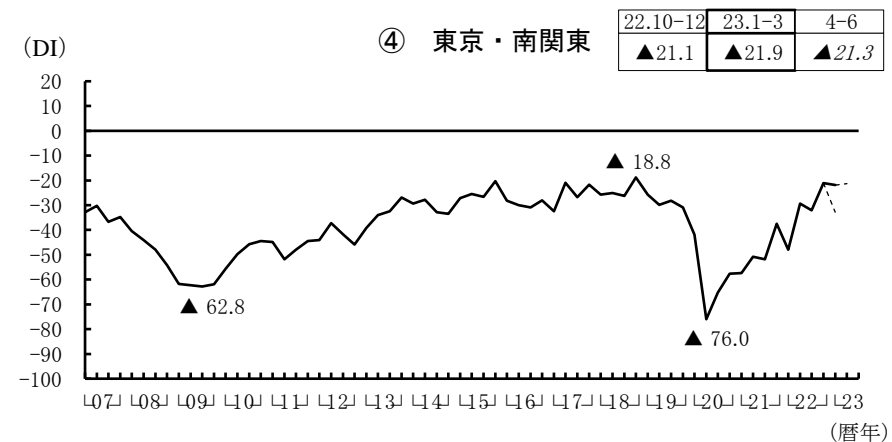
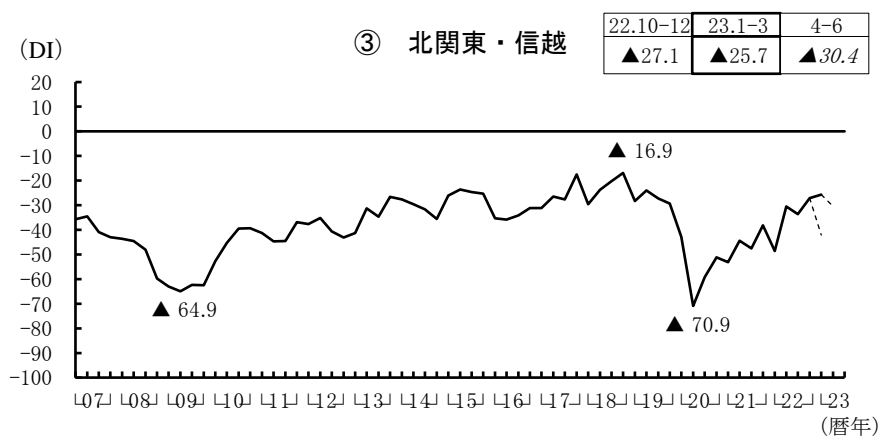
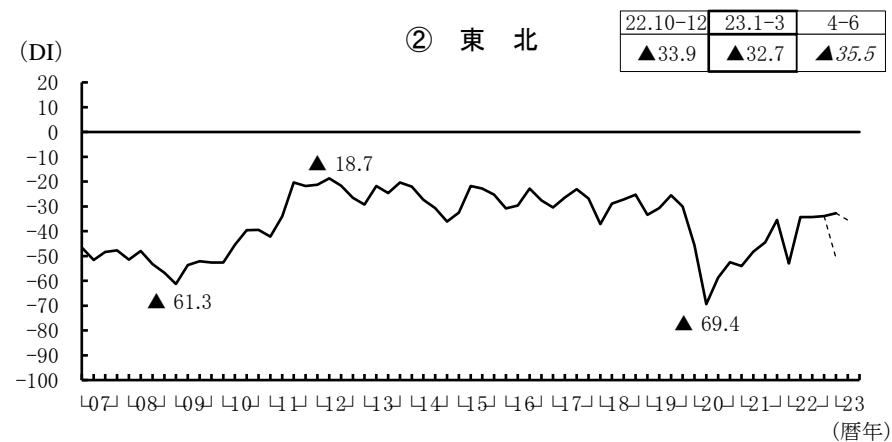
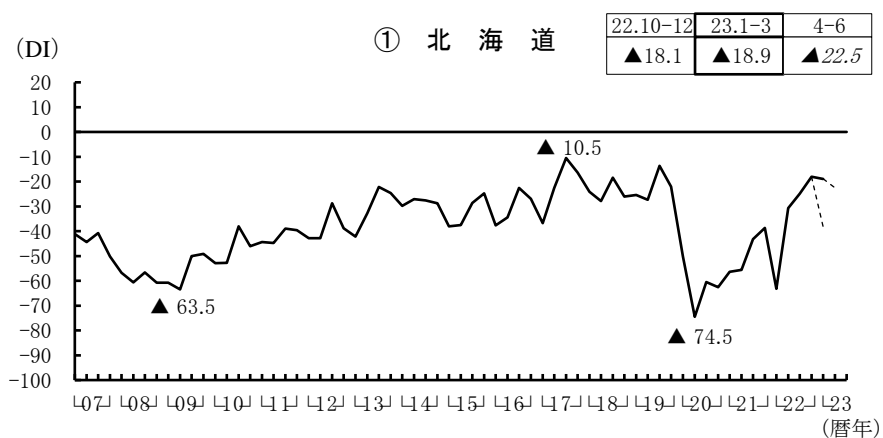


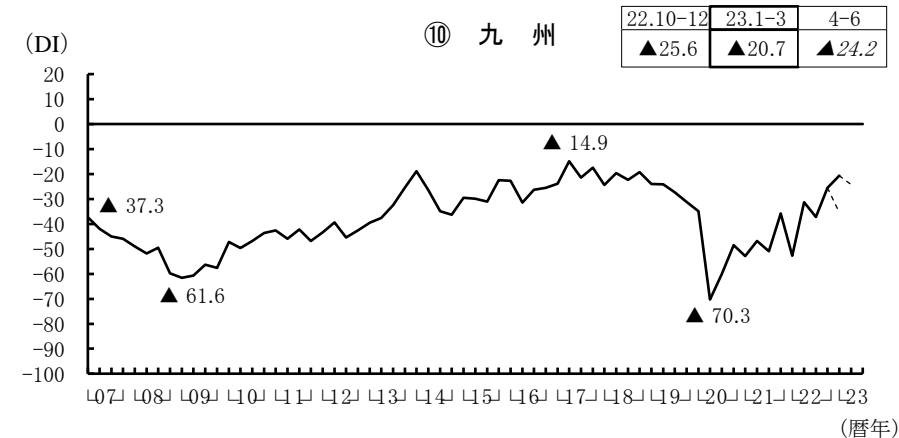
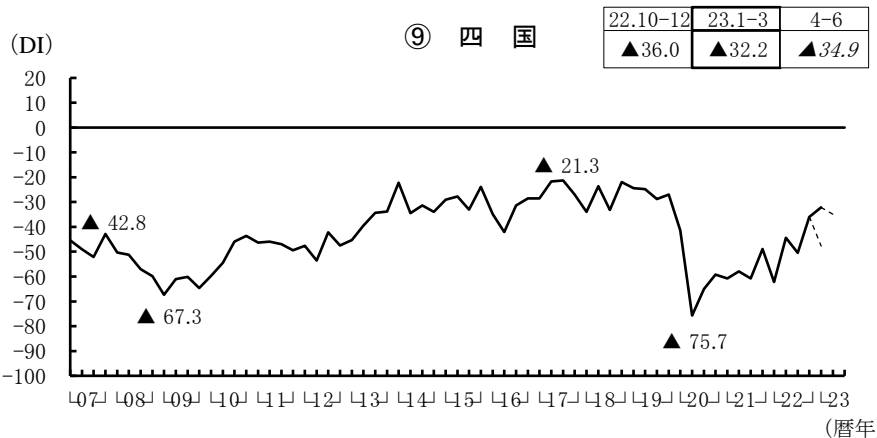
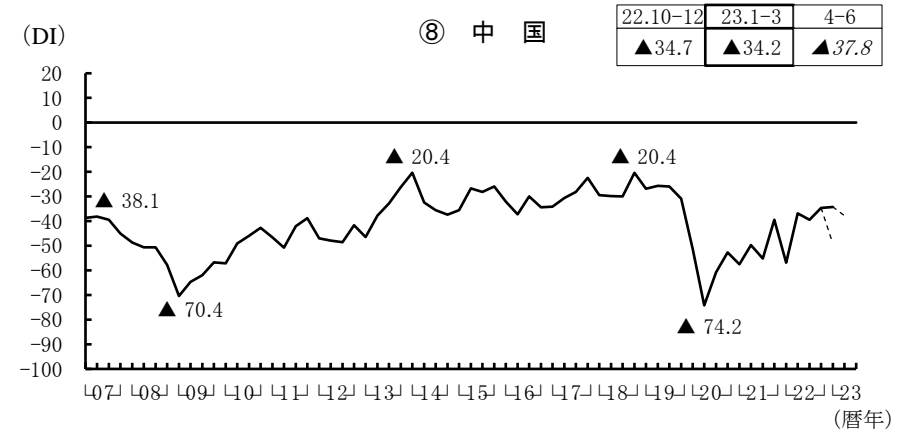
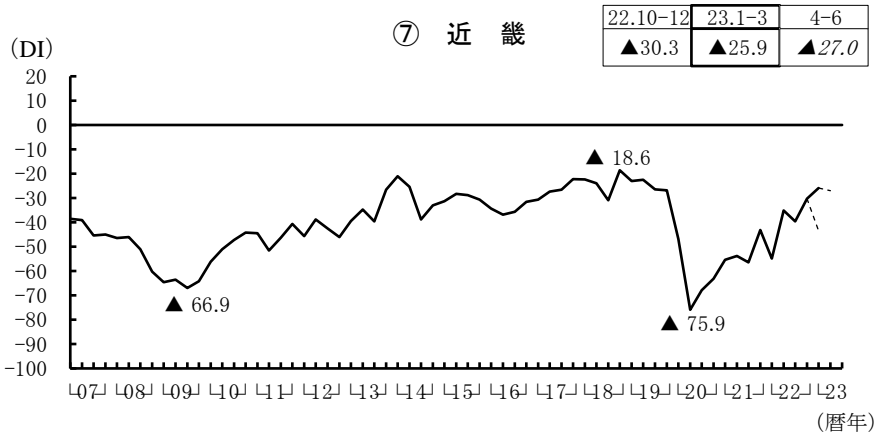
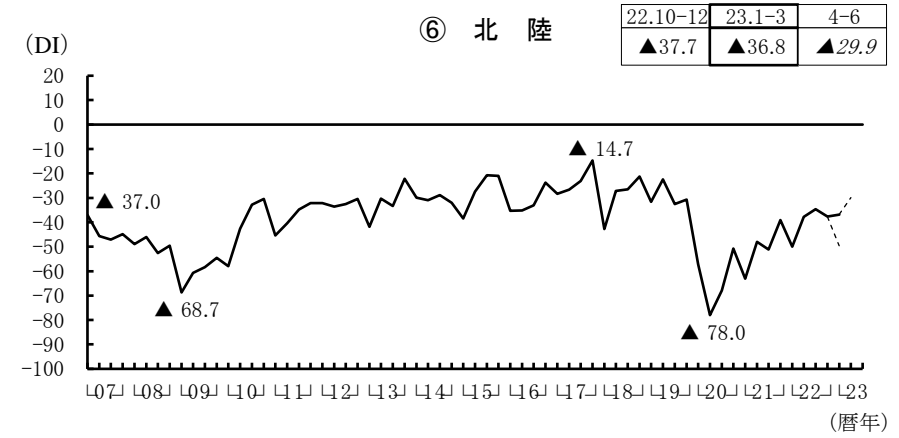
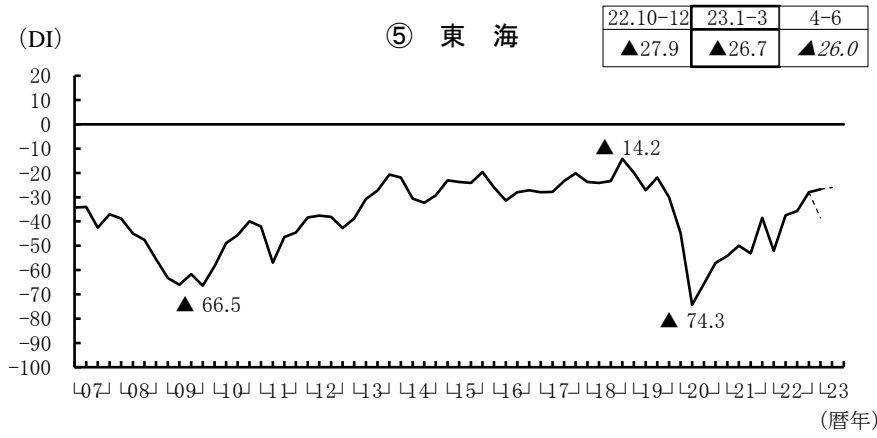
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道と東京・南関東を除くすべての地域でマイナス幅が縮小した。
- 来期は、東京・南関東と東海、北陸を除くすべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－3 地域別業況判断DIの推移

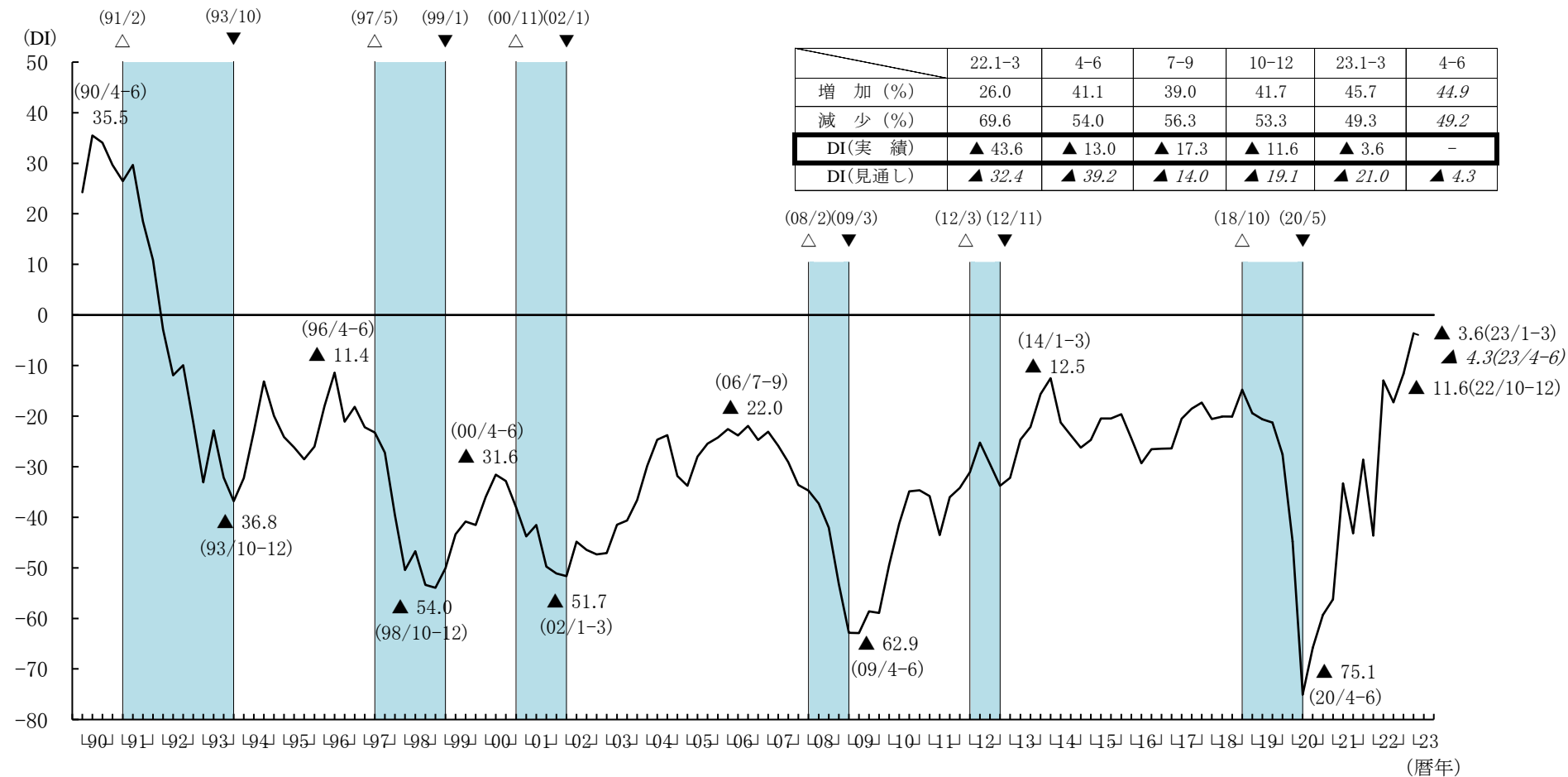




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が8.0ポイント縮小し、▲3.6となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



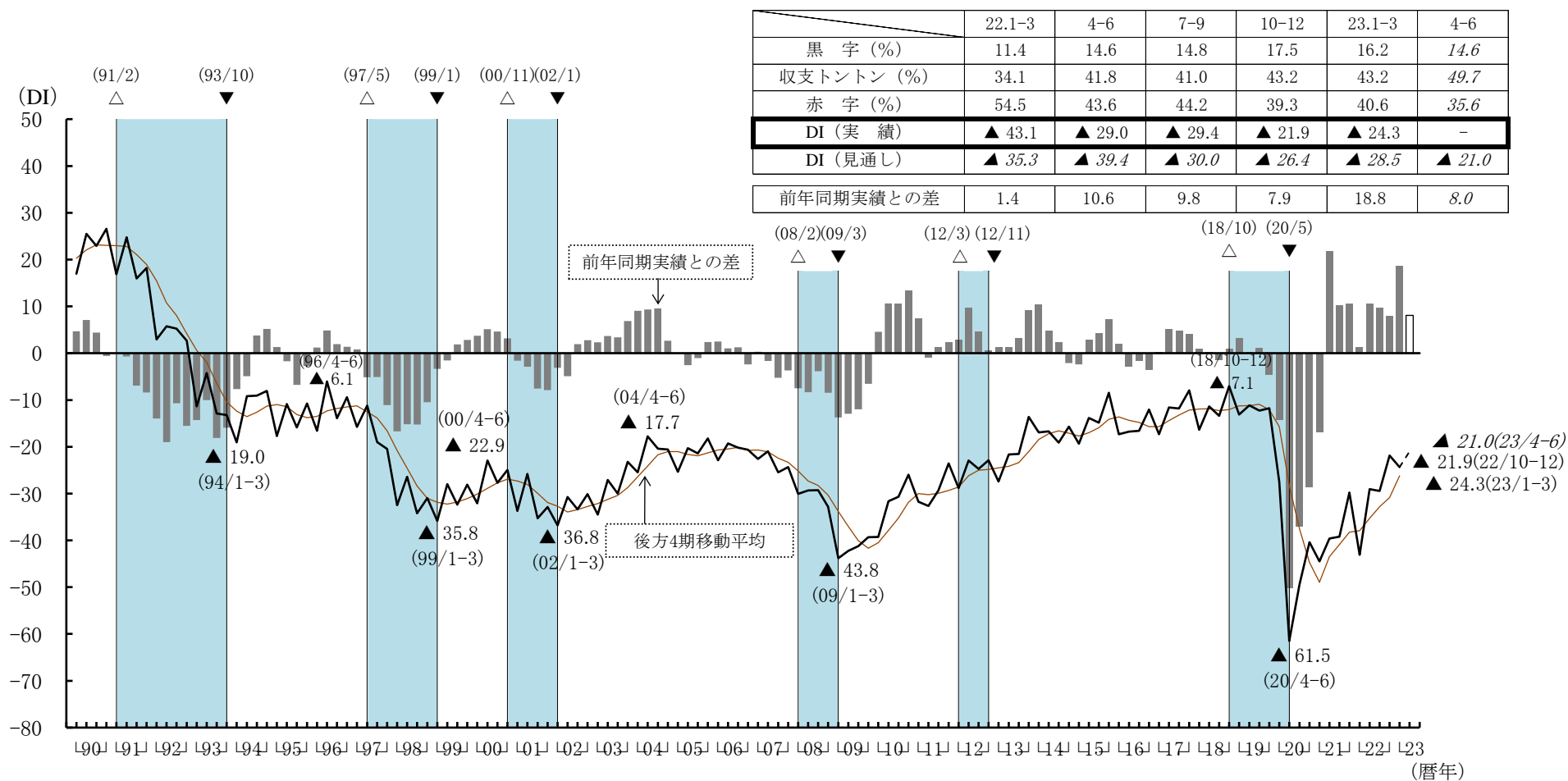
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が2.4ポイント拡大し、▲24.3となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

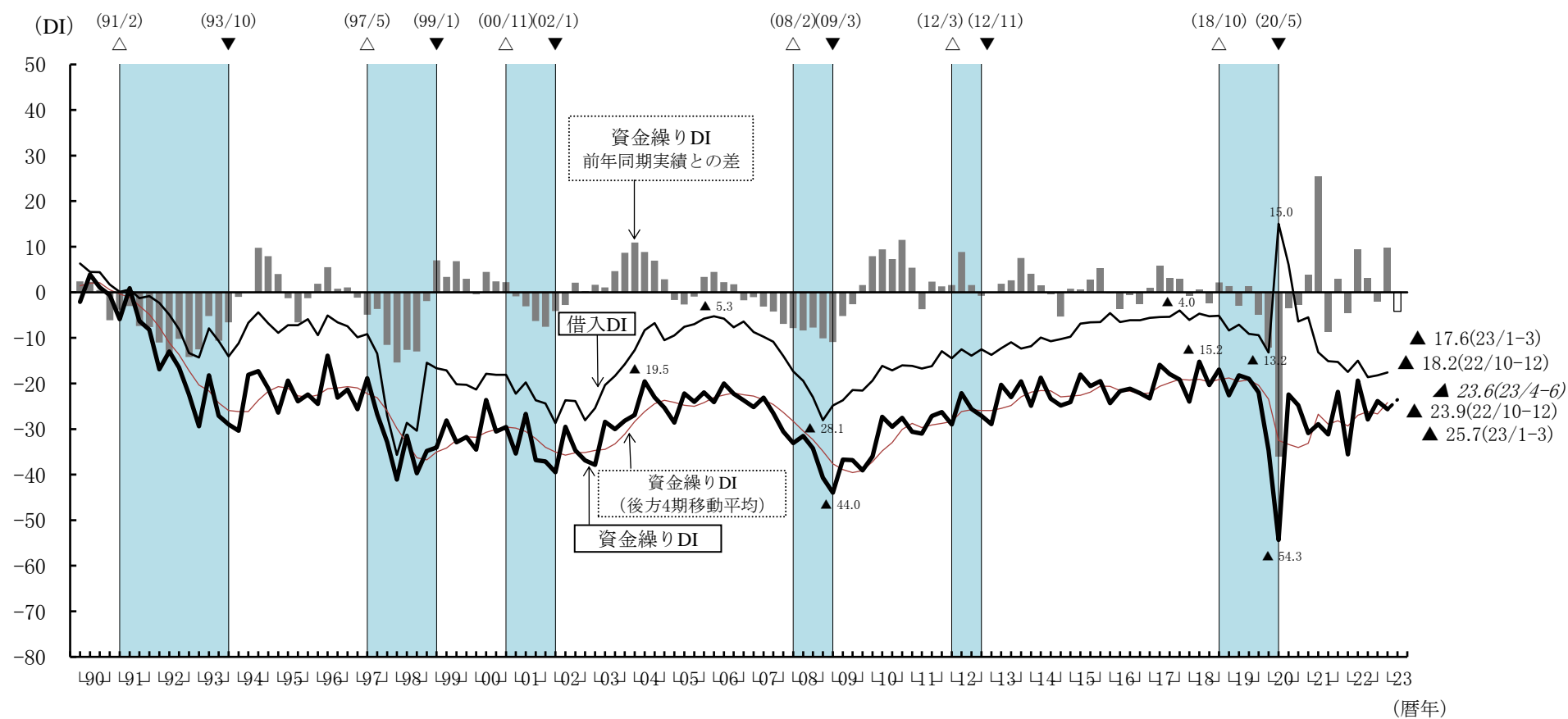
図－5 採算DIの推移（全業種計）



## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が1.8ポイント拡大し、▲25.7となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が0.6ポイント縮小し、▲17.6となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



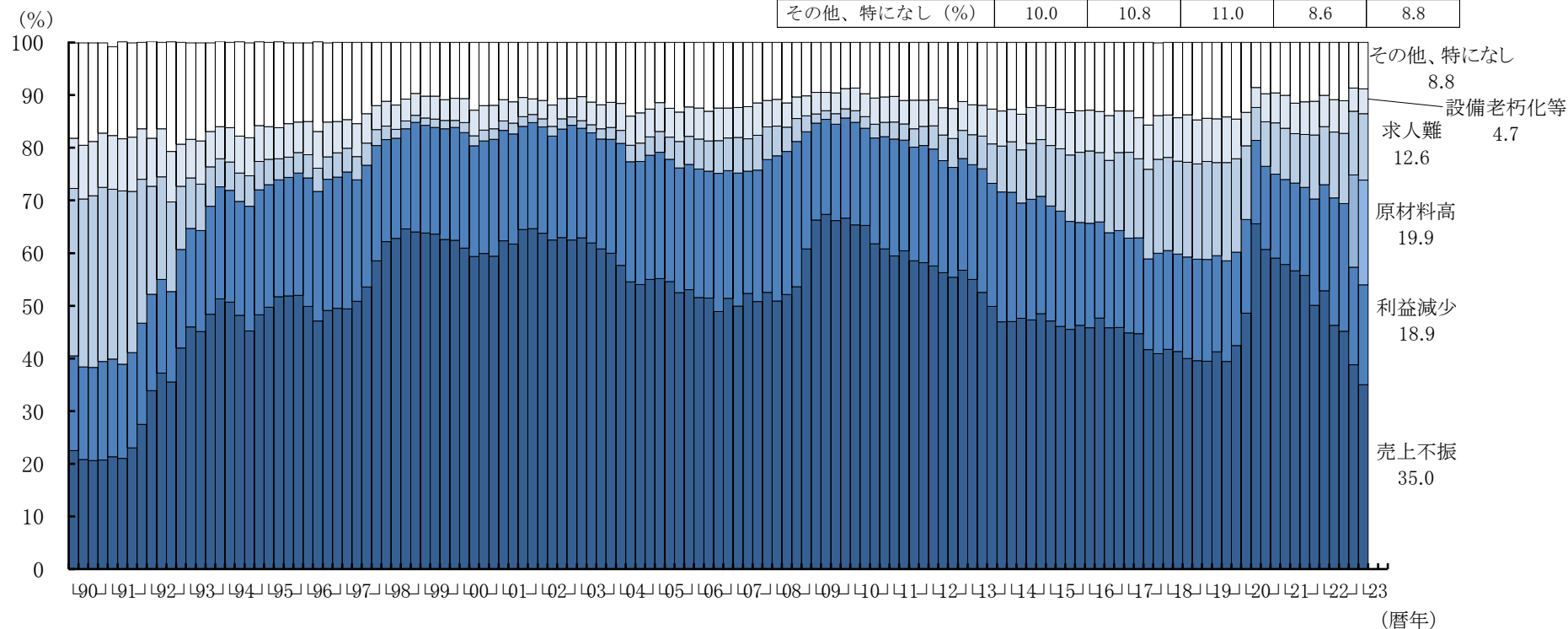
- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が35.0%と最も多く、次いで、「原材料高」（19.9%）、「利益減少」（18.9%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計）

	22.1-3	4-6	7-9	10-12	23.1-3
売上不振 (%)	52.9	46.3	45.1	38.8	35.0
利益減少 (%)	20.2	24.2	24.3	18.5	18.9
原材料高 (%)	-	-	-	17.5	19.9
求人難 (%)	11.0	12.5	13.3	12.1	12.6
設備老朽化等 (%)	5.9	6.2	6.2	4.4	4.7
その他、特になし (%)	10.0	10.8	11.0	8.6	8.8

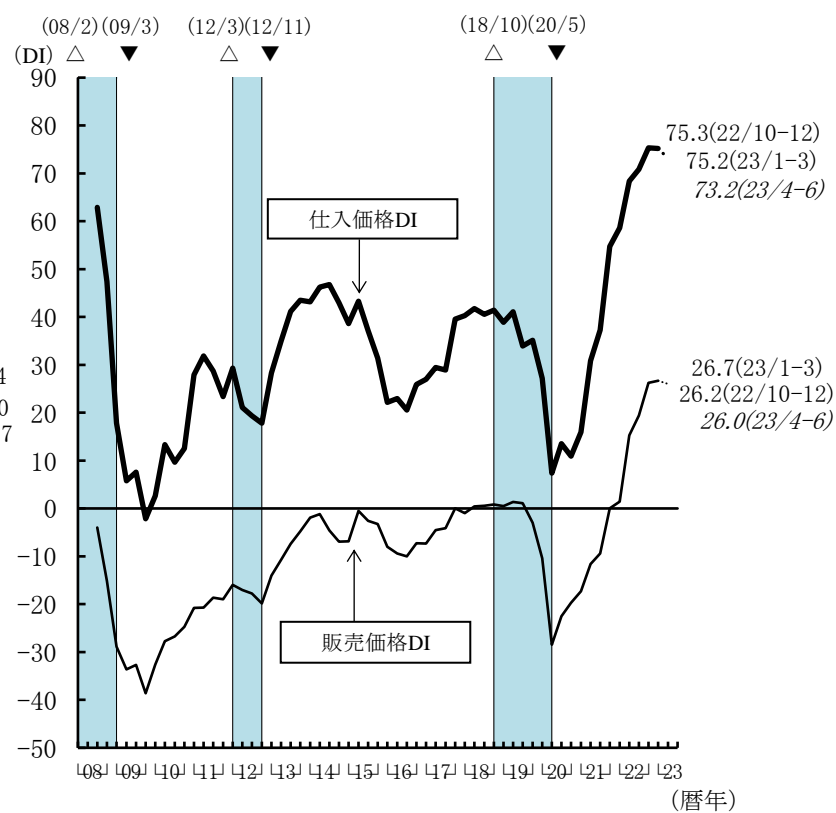
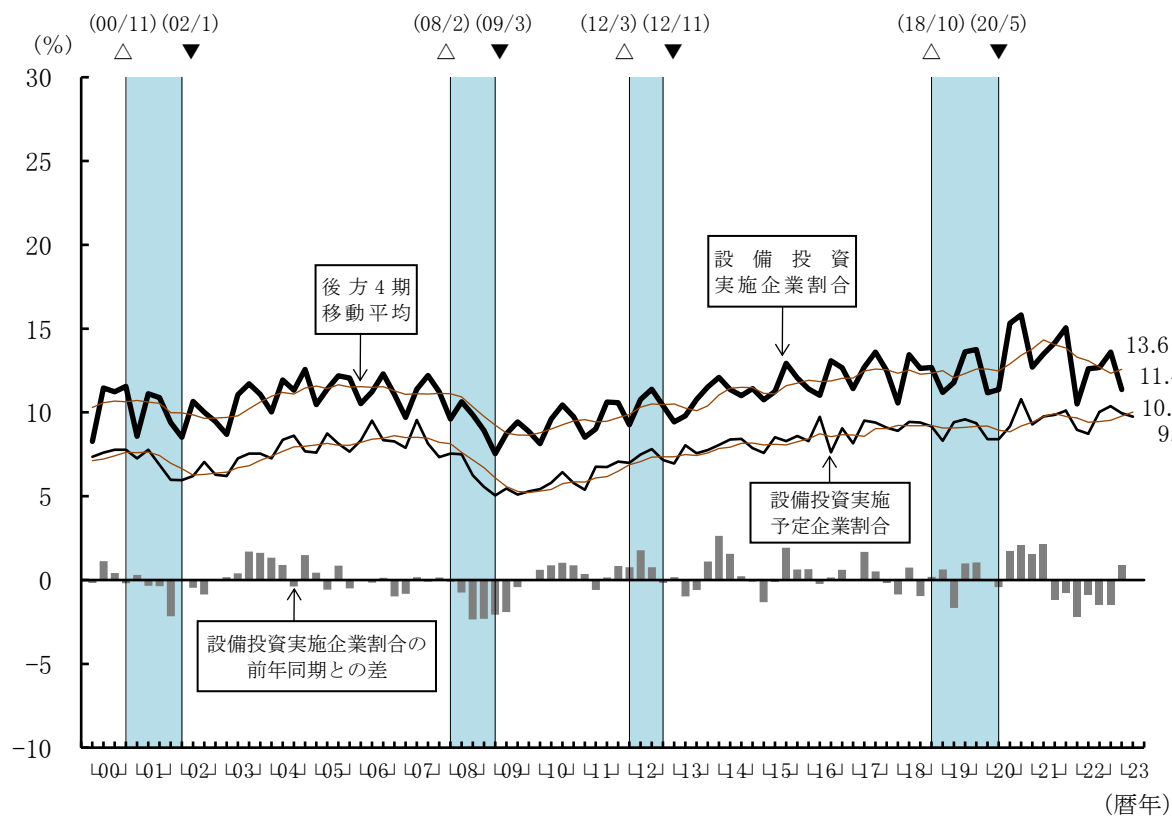


- (注) 1 2022年10-12月期に「原材料高」を追加した。  
 2 「その他、特になし」は、「代金回収条件の悪化」「代金支払条件の悪化」「借入難」「その他」「特に問題なし」を合計したものの。  
 3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から2.2ポイント低下し、11.4%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、0.5ポイント上昇し、26.7となった。来期は低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、ほぼ横ばいで推移し、75.2となった。来期は低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2023年1－3月期実績、2023年4－6月期および7－9月期見通し)

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、  
持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2023年3月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）12,950社
有 効 回 答 数	5,123 社 [回答率 39.6 %]

### < 業 種 構 成 >

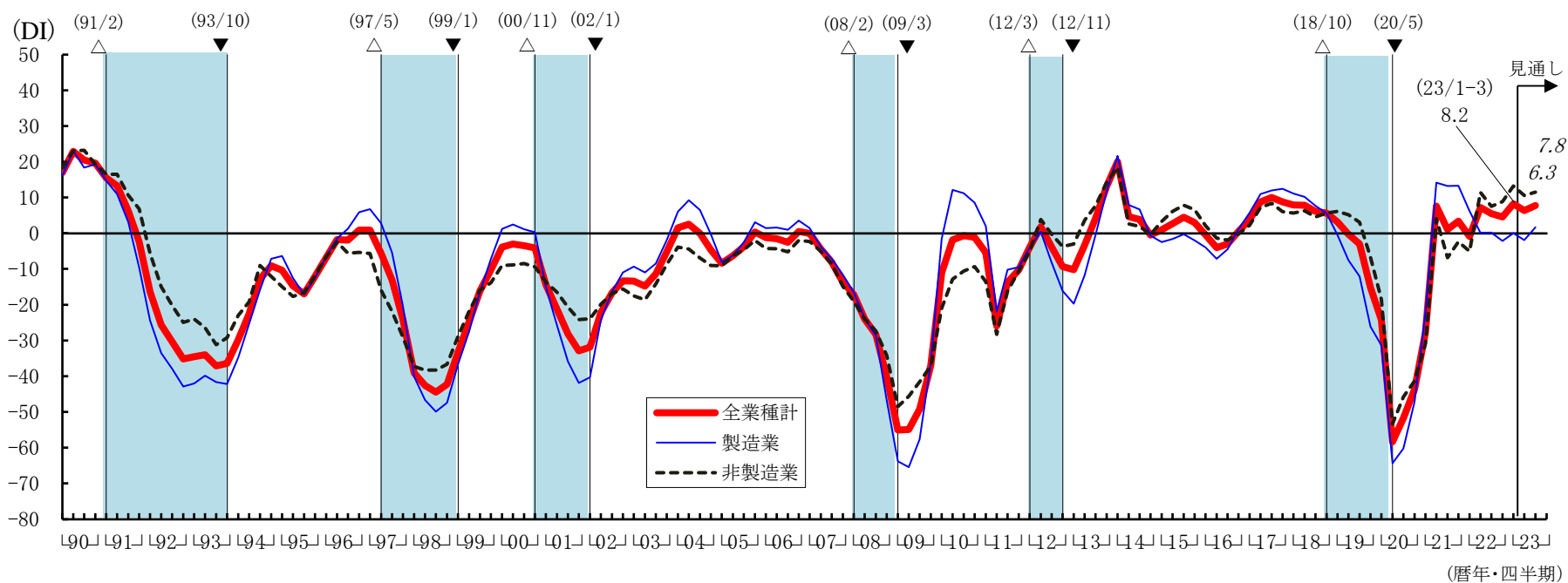
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	4,430 社	1,873 社	(構成比	36.6 %)
鉱 業	14 社	8 社	( 同	0.2 %)
建 設 業	1,229 社	502 社	( 同	9.8 %)
運送業(除水運)	819 社	354 社	( 同	6.9 %)
水 運 業	129 社	53 社	( 同	1.0 %)
倉 庫 業	57 社	23 社	( 同	0.4 %)
情 報 通 信 業	365 社	126 社	( 同	2.5 %)
ガ ス 供 給 業	6 社	3 社	( 同	0.1 %)
不 動 産 業	717 社	265 社	( 同	5.2 %)
宿泊・飲食サービス業	739 社	214 社	( 同	4.2 %)
卸 売 業	1,841 社	747 社	( 同	14.6 %)
小 売 業	1,033 社	384 社	( 同	7.5 %)
サ ー ビ ス 業	1,571 社	571 社	( 同	11.1 %)

# 1 業況判断

- 今期（2023年1－3月期）の業況判断DIは、前期（2022年10－12月期）から3.7ポイント上昇し、8.2となった。
- 来期（2023年4－6月期）は6.3と低下し、来々期（2023年7－9月期）は7.8となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3 (前回見通し)	2023/4-6 (前回見通し)	2023/7-9
業況判断DI (季節調整値)	▲ 0.9	7.2	5.5	4.5	8.2 ( 2.6)	6.3 ( 5.2)	7.8
製 造 業	6.2	0.1	0.1	▲ 2.2	0.1 (▲ 2.5)	▲ 1.9 ( 1.2)	1.7
非 製 造 業	▲ 5.1	11.5	7.5	8.9	13.2 ( 5.2)	10.6 ( 7.7)	11.5



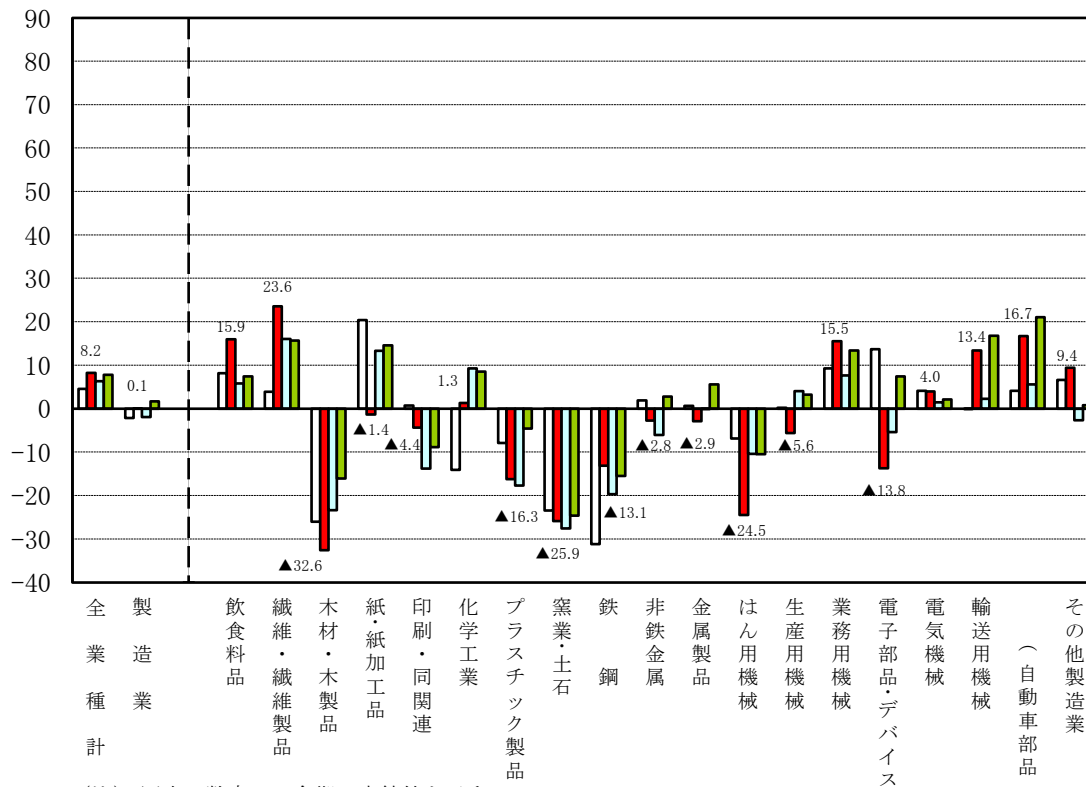
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、繊維・繊維製品、鉄鋼、化学工業等が上昇した。一方、電子部品・デバイス紙・紙加工品等は低下した。
- 非製造業は、宿泊・飲食サービス業、不動産業、サービス業等が上昇した。

図－２ 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

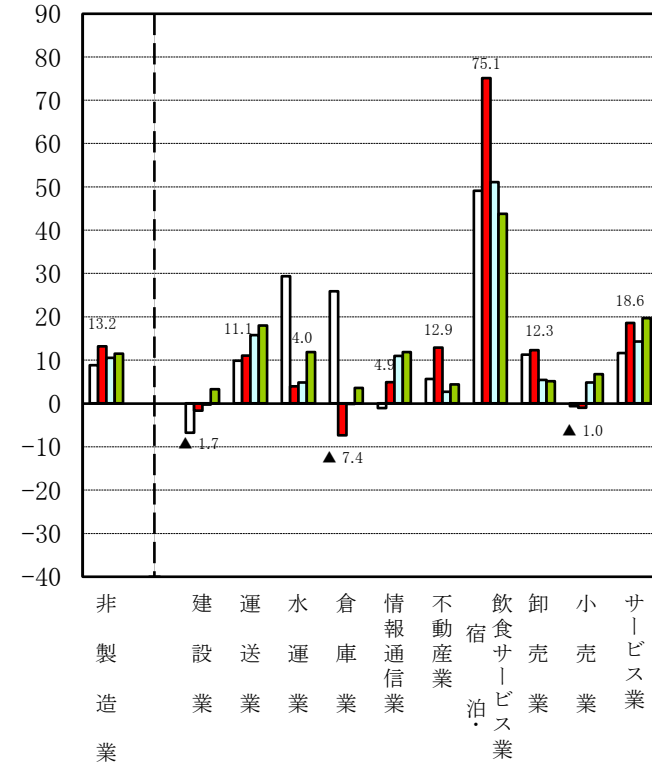


－製造業－  
(DI)



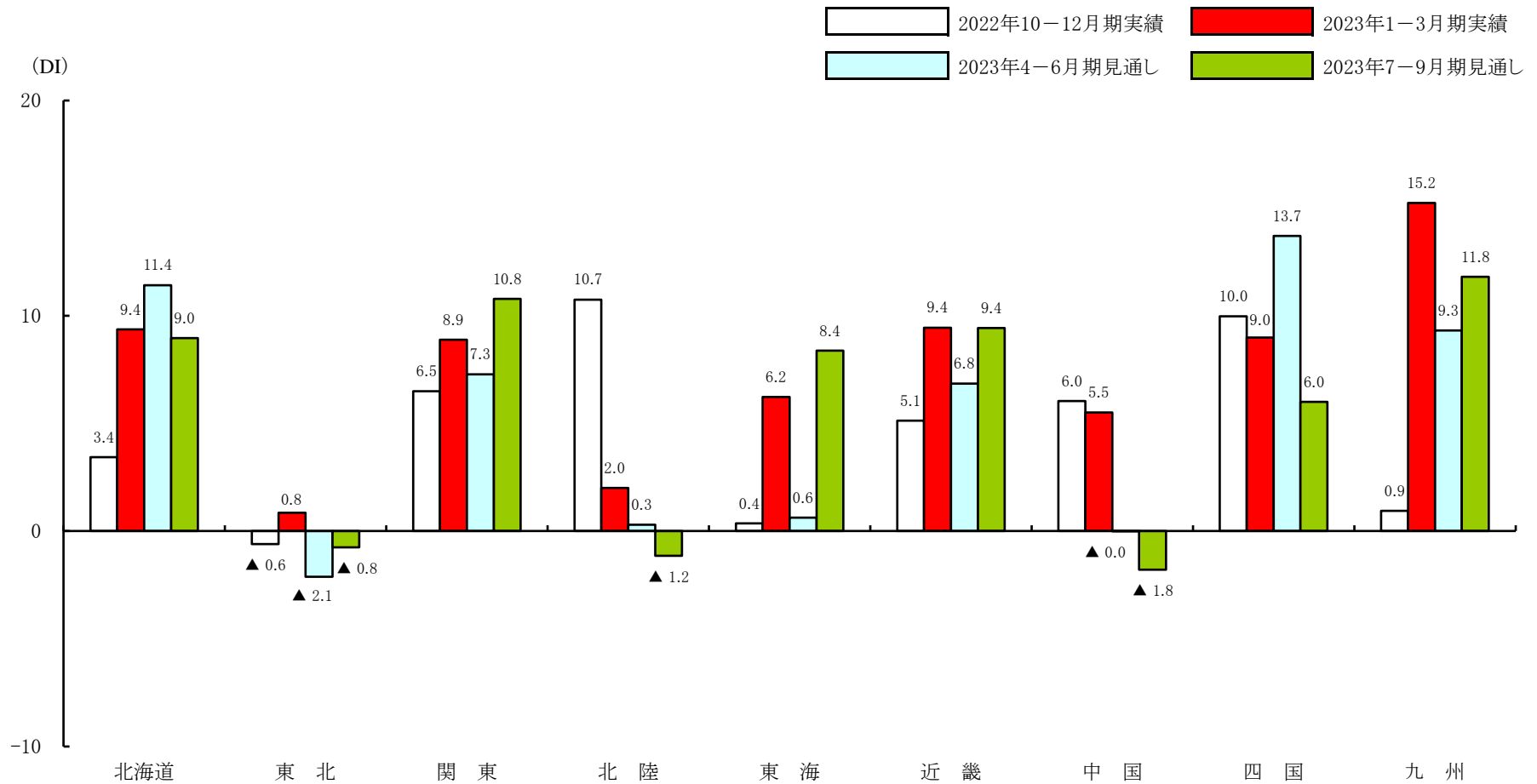
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－  
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域で上昇した。
- 来期は、北海道、四国の2地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

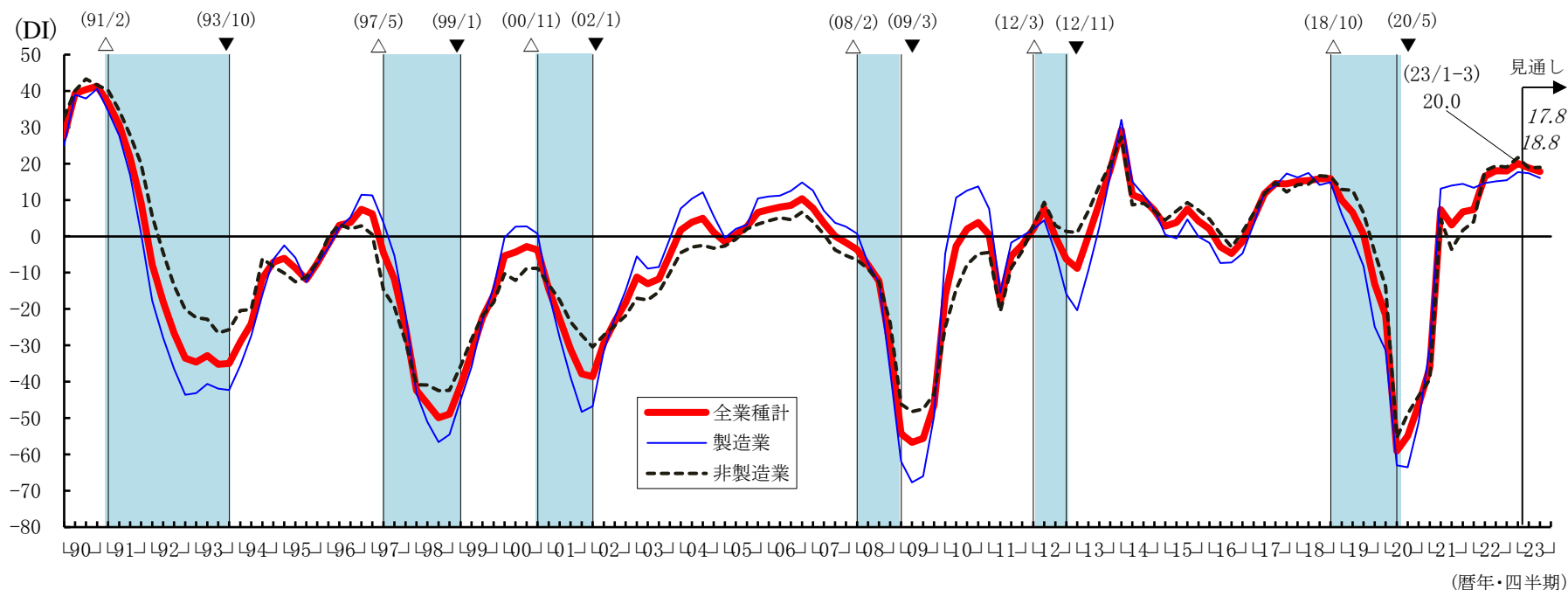


## 2 売上

- 今期の売上DIは、前期から2.0ポイント上昇し、20.0となった。
- 来期は18.8と低下し、来々期は17.8となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3 (前回見通し)	2023/4-6 (前回見通し)	2023/7-9
売上DI (季節調整値)	7.3	16.5	18.1	18.0	20.0 ( 17.7)	18.8 ( 16.7)	17.8
製 造 業	13.3	14.6	15.1	15.4	17.7 ( 15.1)	17.3 ( 13.8)	16.1
非 製 造 業	4.0	18.0	19.3	19.0	21.7 ( 19.1)	18.9 ( 17.9)	18.9



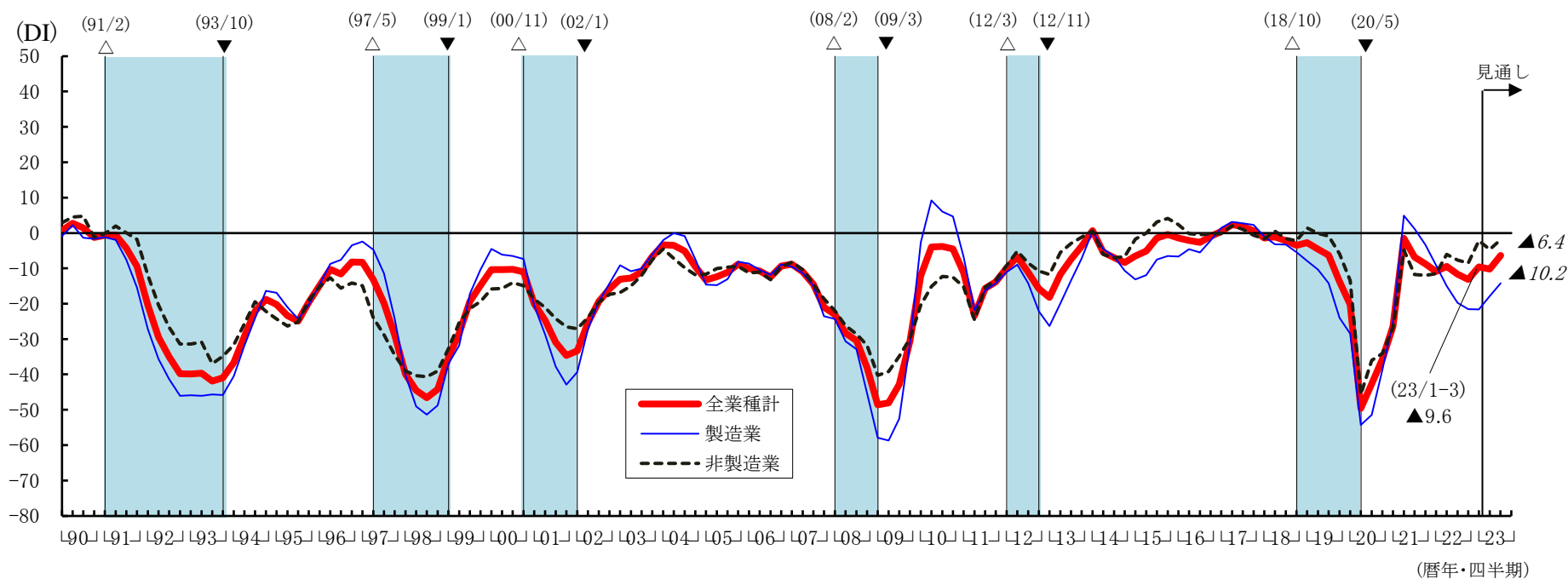
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が3.6ポイント縮小し、▲9.6となった。
- 来期は▲10.2とマイナス幅が拡大し、来々期は▲6.4となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3 (前回見通し)	2023/4-6 (前回見通し)	2023/7-9
純益率DI (季節調整値)	▲ 10.9	▲ 9.4	▲ 11.7	▲ 13.2	▲ 9.6 (▲ 10.1)	▲ 10.2 (▲ 8.9)	▲ 6.4
製 造 業	▲ 9.1	▲ 15.0	▲ 19.8	▲ 21.5	▲ 21.6 (▲ 15.8)	▲ 17.8 (▲ 12.9)	▲ 14.2
非 製 造 業	▲ 11.6	▲ 6.1	▲ 7.7	▲ 8.5	▲ 2.2 (▲ 7.7)	▲ 4.7 (▲ 6.6)	▲ 1.9



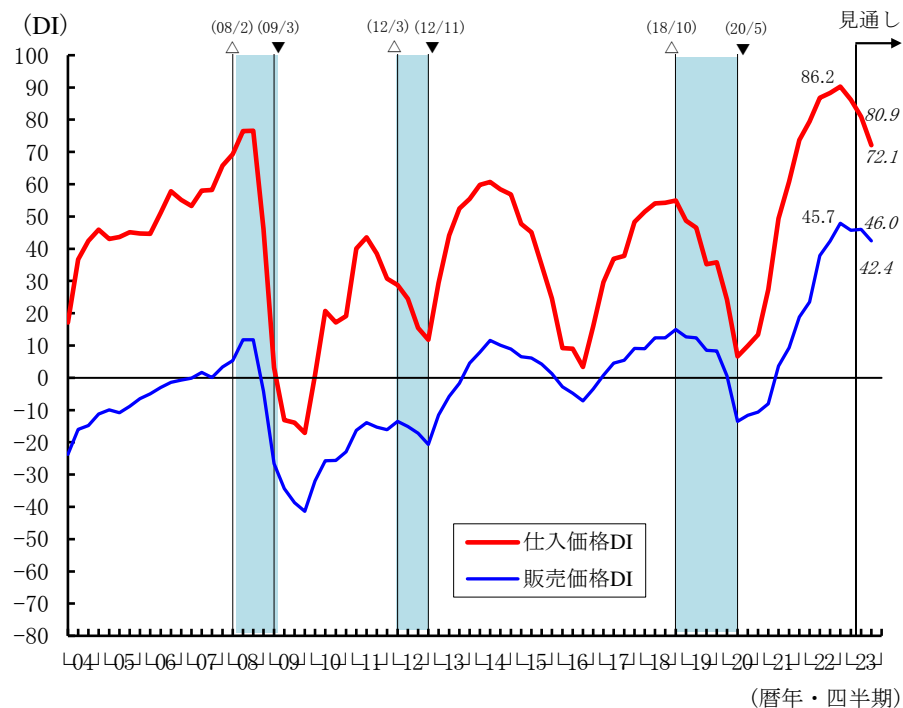
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から2.2ポイント低下し、45.7となった。仕入価格DIは前期から4.1ポイント低下し、86.2となった。来期の販売価格DIは上昇、仕入価格DIは低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは前期から上昇した。長期借入難易DIと短期借入難易DIはともに前期から低下した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

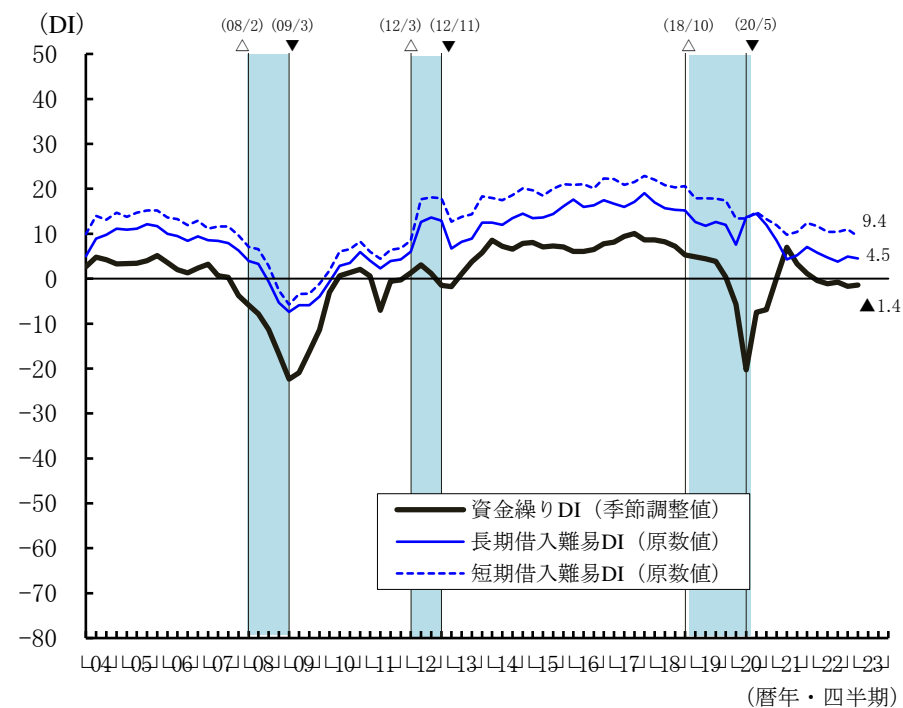
	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9
販売価格DI	23.5	37.9	42.3	47.9	45.7	46.0	42.4
仕入価格DI	79.4	86.8	88.3	90.3	86.2	80.9	72.1



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3
資金繰りDI（季節調整値）	▲0.4	▲1.1	▲0.8	▲1.7	▲1.4
長期借入難易DI（原数値）	5.8	4.7	3.8	4.9	4.5
短期借入難易DI（原数値）	11.7	10.4	10.4	11.0	9.4



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

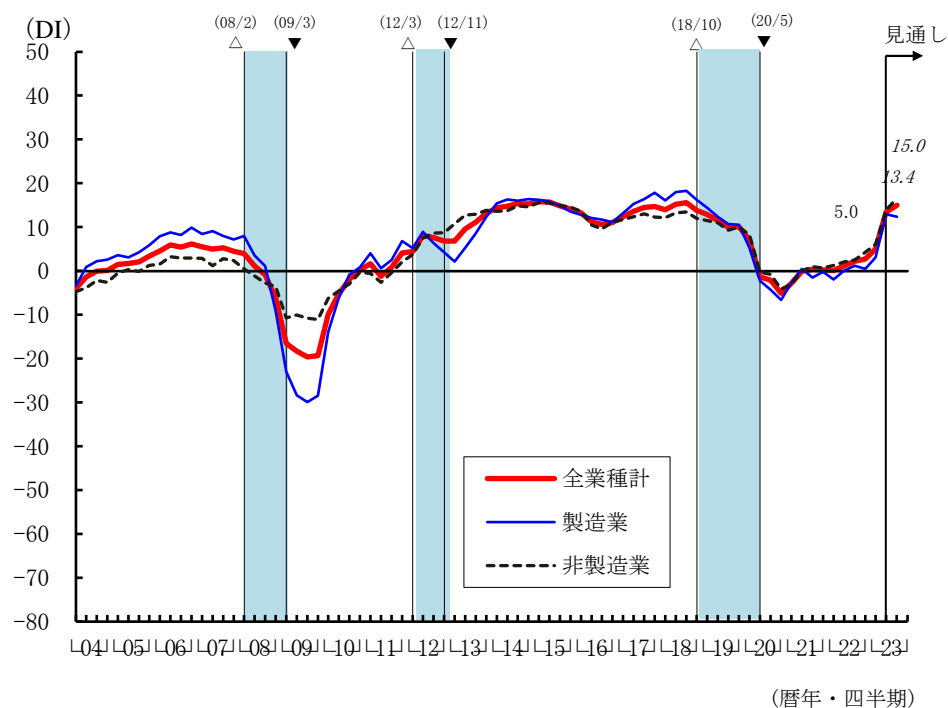


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から2.3ポイント上昇し、5.0となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から1.1ポイント上昇し、35.6%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

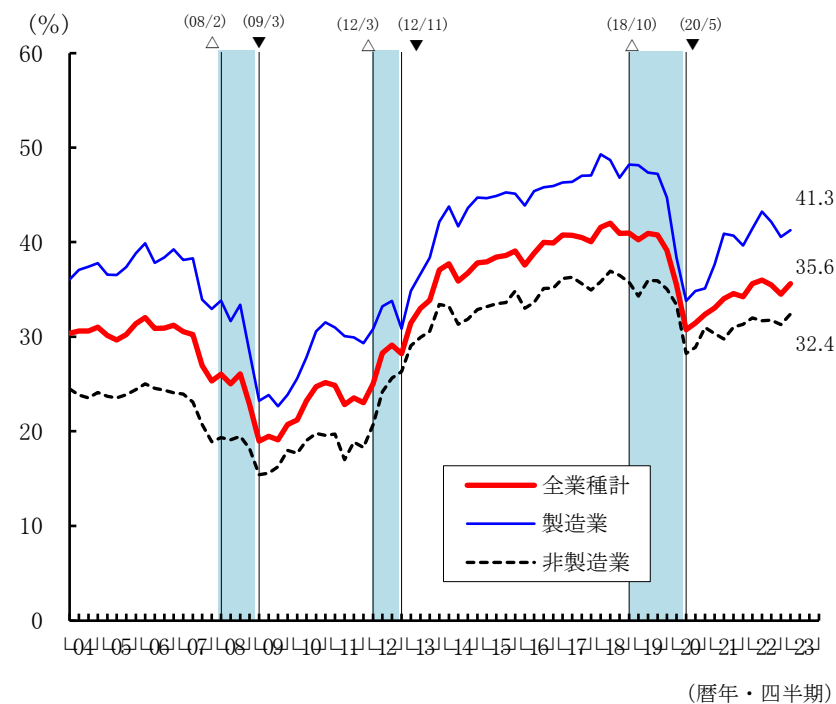
	見通し						
	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9
全業種計	0.1	1.2	2.2	2.7	5.0	13.4	15.0
製造業	▲1.9	0.1	1.2	0.5	3.1	13.0	12.3
非製造業	1.3	2.1	2.5	4.3	6.1	13.9	16.6



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3
全業種計	35.6	36.0	35.5	34.5	35.6
製造業	41.4	43.2	42.1	40.5	41.3
非製造業	32.0	31.7	31.8	31.3	32.4



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「原材料高」が31.6%と最も多く、次いで、「売上・受注の停滞、減少」（25.6%）、「求人難」（23.5%）となっている。
- 前回調査と比べると、「求人難」は2.4ポイント上昇した。「原材料高」は2.4ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

